総務部

部長：松田 進 副部長：山下 紀子

(1) 今年度の目標

分掌の意味合いから、厚生活動、PTA活動、同窓会活動の3つを統合した目標を「めざす姿」として掲げ、さらに具体的な3つの学年別目標を設定する。

「めざす姿」

生徒が本校を大切に思う心を育み、母校の歴史・伝統を尊重するとともに、具体的に先輩たちの活躍や活動の事績を学び知り、自分自身の将来の夢や職業的目標を自主的に確立していけるように導く。

(1年) 母校の歴史・伝統に触れ、校舎を始め校内のさまざまな人や物を大切に思う心を養う。

(2年) 母校の先輩たちの足跡に触れ、調べ、思いをいたすような体験を持つ。

(3年) 母校の歴史・伝統を踏まえた上で、自分自身の将来設計、進路目標を具体的に確立していく。

(2) 主な取り組みの計画

① PTA活動

・「PTAだより」を通じて、保護者全員に対して、本校生徒の現況と将来的発展的な展望を広報・啓発する。本校の歴史、逸話等の特集して周知する。

・PTA家庭学級を開き、保護者対象の講演会を実施する。

② 同窓会活動

・「記念館・同窓会館」を中心として、生徒に対して、先輩諸氏の事績や活躍の歴史を広告し、歴史・伝統のある母校での学校生活を送る自覚と誇りを育む。

・創立記念講演会を実施し、伝統の重みを実感させるとともに、先輩の活躍を直接聴くことによって生徒各自の人間性の陶冶を促し、将来設計の指針の一助となることを目指す。

(3) 成果

① PTA活動

広報委員会活動による「PTAだより」65号(7月)と66号(12月)を作成し、1、2学期末の懇談を通じて保護者に配布し、学校の現況などを周知することができた。また、他の委員会活動も例年通り活発に活動でき、家庭学級(講演会)、厚生委員会、ソフトボール大会・ソフトバレーボール大会・綱引き大会など、PTAとして、活発に活動し交流することができた。昨年度実施できなかった秋の一日研修も今年度は実施できた。

② 同窓会活動

今年度も学校行事と連動した、創立記念講演会((6/3)昭33卒、近藤浩二氏(株 レアスウィート))及び座談会を開催できた。今注目の希少糖開発に関する貴重な話を聞くことができ、生徒たちの自己形成や進路に対する意識を高める一助となり得た。今後とも継続して実施していきたい。

(4) 課題と次年度以降の改善策

① PTA活動

来年度もこれまで同様、6つの各委員会活動を中心にして、PTAの交流・親睦を深め、これまで以上の信頼関係を目指して活動していきたい。

しかし、最近全体の会である実行委員会・合同委員会への出席者が減少している。役員の方に年度当初各委員会の委員候補を出していただく時に会への出席を今までよりも少し強めをお願いしていただくようにして、出席者を増やしたいと思う。また会の開始時刻の設定についても、今より少し遅らせて、仕事の方でも出やすい方法を検討したい。特に実行委員会の時期と回数についても見直す必要がある。家庭学級においてもより興味を持って参加しやすい講師の選定に努めたい。

② 同窓会活動

昨年度の記念同窓会総会及び懇親会に関して幹事団による運営という方式を継続し、今後の同窓会懇親会の運営を学年幹事団との協力によることとした。今後さらに同窓会活動の活性化につながるよう努力したい。次年度からは新体育館建て替えが本格化し、それに伴う緞帳制作の事業も控えており、百二十周年記念事業が継続中であることを肝に銘じておかなければならない。その他、役員の変更、幹事会の運営等慎重に進めていきたい。